

2025.12.20 中山競馬場・阪神競馬場・中京競馬場

ターコイズステークス (GⅢ)

前日発売 朝日杯フューチュリティステークス (GI)

YOUNG JOCKEYS SERIES

2025

青さは、未熟さの象徴ではない。

青さは、実直だ。

青さは、不屈だ。

青さは、希望だ。

勝つことだけを見つめ

ただひたむきに駆け続ける。

そんな若きジョッキーたちの

内に秘める青き熱が

芝に、ダートに、ほとばしる。

青く駆けろ。



About
Young
Jockeys
Series

FINAL ROUND ファイナルラウンド

トライアルラウンドの成績で選ばれたJRAと地方競馬の若手騎手16名がファイナルラウンドに進出。騎乗馬の着順により点数が与えられ、その合計得点で順位を決定します。

詳細はこちらをご覧ください→

2025 ヤングジョッキーズシリーズ 🔍



12.18 [木] 園田競馬場

12.20 [土] JRA 中京競馬場

◆第8レース 13時35分発走予定

2025ヤングジョッキーズシリーズファイナルラウンド中京第1戦 芝2,000m

◆第10レース 14時45分発走予定

2025ヤングジョッキーズシリーズファイナルラウンド中京第2戦 ダート1,400m

東日本地区 1位



山本 大翔

(やまと つばさ)

2003年11月29日生 神奈川県出身

所属 船橋・佐藤裕太厩舎

初騎乗 2024年4月11日

通算成績 424戦24勝

トライアルラウンド船橋と盛岡で勝利

TR2勝。TR船橋は直線を向いても先頭との距離がまだあったが、冷静に差し切り勝ち。TR盛岡では1戦目で感じた外有利の馬場傾向を騎乗に生かして勝利を決めた。サッカー少年から騎手になった。トレーニングでは、股関節の可動域を広げることや骨盤の使い方に取り組んでいる。「JRAで乗りたいと思っていました」と意気込む。

東日本地区 2位



神尾 香澄

(かみお かすみ)

2001年11月20日生 静岡県出身

所属 川崎・山田質厩舎

初騎乗 2021年4月19日

通算成績 1348戦69勝

自厩舎のマッドシェリーで重賞2勝

TR大井で勝利。逃げ・先行馬が多い展開を、それを見る位置から冷静に運んで直線で脚を伸ばした。自厩舎のマッドシェリーとのコンビでは重賞2勝を挙げる。小学生から始めたサッカーでは静岡県女子選抜入りを果たすなど、心身ともに鍛えて騎手の道に入った。一人カラオケでは高得点が出ないと悔しがる負けず嫌い。

東日本地区 3位



佐野 遥久

(さの はるく)

2006年12月7日生 静岡県出身

所属 川崎・久保秀男厩舎

初騎乗 2024年4月1日

通算成績 1285戦87勝

デビュー2年目で通算80勝超え

TR船橋3着、TR浦和4着と2着と、勝利こそなかったが、上位入着が多かった。激戦区の南関東において、デビュー2年目で通算87勝を挙げる活躍なのだから納得だ。2019年ジョッキーベイビーズ優勝者。スリとした長身とは対照的に「ガッツある騎乗を見てほしい」と話す。名前の由来はプロレスラーのハルク・ホーガン選手。

東日本地区 4位



谷内 貫太

(たにうち かんた)

2004年6月15日生 東京都出身

所属 大井・嶋田幸晴厩舎

初騎乗 2022年4月18日

通算成績 1865戦62勝

トライアルラウンドでは人気薄で上位入着

TR門別で2着、3着、TR大井3着で、いずれも6番人気以下での上位入着。特にブービー人気で3着に入ったTR門別では返し馬で「気分を崩さず走らせた方が良さそう」と感じ、リズムよく運んだことで引き寄せた。TRは以前に比べ極端なハイペースが減った傾向をしっかりと分析・把握。昨年に続き2回目のファインナル進出。



2025 YOUNG JOCKEYS SERIES

出場騎手紹介
地方所属編

2025 ヤングジョッキーズシリーズ ファイナルラウンド

西日本地区 1位



松本 一心

(まつもと いち)

2005年6月13日生 兵庫県出身

所属 笠松・加藤幸保厩舎

初騎乗 2023年4月5日

通算成績 1129戦73勝

昨年ケガで不出場の鬱憤を晴らす

昨年はケガでYJS不出場だったが、その鬱憤を晴らすかのごとくTR2勝を挙げた。TR名古屋では各馬がけん制し合うスローペースを2コーナーから早めに動いて勝利。TR佐賀は人気に推された馬でしっかり逃げきり勝ちと、積極的な騎乗が目立った。父が地方競馬の騎手で、小さい頃から父に憧れて自身もこの道に入った。

西日本地区 2位



塩津 璃菜

(しおつ りな)

2005年2月17日生 岡山県出身

所属 兵庫・長南和宏厩舎

初騎乗 2024年4月16日

通算成績 758戦20勝

門別の期間限定騎乗で成長

今夏、門別競馬場での期間限定騎乗で成長。二の腕はパンプアップし、積極的な騎乗も増えた。TR園田では気難しい馬ながら馬群の内を脚を溜めると、スイスイ脚を伸ばして完勝。愛嬌あるキャラクターの一方、人気薄で上位に食い込ませる勝負強さも持ち合わせる。乗馬を習い始めた頃は、揺れが心地よすぎて馬上で寝ていたという。

西日本地区 3位



土方 颯太

(ひじかた そうた)

2007年2月9日生 岐阜県出身

所属 兵庫・高馬元紘厩舎

初騎乗 2024年4月16日

通算成績 986戦95勝

トライアルラウンドでは同期と鎬を削る

TRでは同期と逃げ争いや、勝負どころでの進路取りの攻防を繰り広げるなど、良きライバルとして戦った。TRでの勝利はなかったが、2着2回。セールスポイントは「馬への当たりの柔らかさ」と本人。小柄だった野球少年は、競馬好きの父と中京競馬場を何度も訪れるなどして騎手を目指した。昨年に続いてのファインナル進出。

西日本地区 4位



青海 大樹

(おおみ だいき)

1999年5月22日生 山口県出身

所属 佐賀・真島元徳厩舎

初騎乗 2021年10月13日

通算成績 2316戦81勝

兵庫から佐賀へ移籍し活躍

地元・佐賀のTRは4コーナー一線の中、大外から差し切り勝ち。騎乗馬の先頭に立つと気を抜く性格を考慮してのレースプランだった。デビュー2年目に兵庫から佐賀に移籍後はさらにファンが増え、この勝利には地元ファンや調教師たちから大歓声が上がった。苗字と同じ「青海島」という山口県長門市の日本海に浮かぶ島出身。

東日本地区 1位



佐藤 翔馬

(さとう しょうま)

2004年11月8日生 神奈川県出身

所属 美浦・フリー

初騎乗 2023年3月4日

通算成績 594戦8勝

地方競馬での騎乗は
160回超え

TR3場続けて3着が続いていたが、最後のTR浦和で逃げ切り勝ちを決めた。父は地方競馬の元騎手で調教師という縁もあり、地方競馬での騎乗数は160回を超える多さ。それだけに地方競馬場を舞台とするTRでは毎年勝利を上げるなど勝負強さを見せる。昨年は初めてファイナルに進出し、総合4位。表彰台まであと一歩だった。

東日本地区 2位



谷原 柚希

(たにはら ゆずき)

2007年2月20日生 千葉県出身

所属 美浦・伊藤圭三厩舎

初騎乗 2025年3月1日

通算成績 60戦0勝

トライアルラウンド川崎で
嬉しい初勝利

TR川崎で外枠からダッシュをつけて好位を確保し勝利。JRA・地方を通して嬉しい初勝利となった。デビューから7カ月後の出来事。その間にはJRAで僅差の2着もあり初勝利への焦りもあったが、周囲への感謝の言葉を重ねた。祖父が営む乗馬クラブで物心つく前から馬に乗り、幼少期から常にニコニコしていた元気娘だ。

東日本地区 3位



石田 拓郎

(いしだ たくろう)

2005年1月20日生 茨城県出身

所属 美浦・新開幸一厩舎

初騎乗 2023年3月4日

通算成績 700戦20勝

トライアルラウンド盛岡では
最後方から勝利

TR盛岡で勝利。最後方から運び、直線では各騎手が進路に悩む雰囲気も見られたが、ロスなく馬場のいい所を通して伸びた。初勝利まで1年1カ月を要したが、その後は着実に勝利を重ねる。父がJRAの調教助手。昨年は大江原比呂騎手の負傷にともない、6日前に急遽、ファイナル出場が決まったが、今年は自身の騎乗で出場を決めた。

東日本地区 4位



横山 琉人

(よこやま りゅうと)

2003年1月8日生 茨城県出身

所属 美浦・相沢郁厩舎

初騎乗 2021年3月6日

通算成績 2060戦107勝

2023年YJS総合優勝

TR船橋第2戦でロスなく運んで差し切り勝ち。第1戦ではペースが遅いと感じると、2コーナーで途中から逃げて僅差2着に粘った。フィールシンパシーとのコンビで重賞2着2回など重賞初制覇にも手が届きかけている。父・義行はJRAの元騎手。同じ苗字の横山典弘騎手と血縁関係はない。23年にもファイナル進出し、YJS総合優勝。

出場騎手紹介
JRA編

2025 YOUNG JOCKEYS SERIES

2025 ヤングジョッキーズシリーズ ファイナルラウンド



西日本地区 1位



西塚 洸二

(にしづか こうじ)

2004年3月9日生 ニュージージーランド出身

所属 栗東・フリー

初騎乗 2022年3月5日

通算成績 1489戦92勝

トライアルラウンド
ポイント全体トップ

TRでは6戦1勝、2着3回、3着1回と好成績を収め、TRポイントは全体トップ。勝利を挙げたTR名古屋は馬の特性を生かして早め先頭を立て押し切った。他のレースでも予想外の逃げや早め捲りなど臨機応変さを見せた。幼少期をニュージージーランドで過ごした経歴を持つ。今年9月、ケリフレッドアスクで紫苑Sを勝ち重賞初制覇。

西日本地区 2位



高杉 吏麒

(たかすぎ りき)

2005年9月28日生 滋賀県出身

所属 栗東・藤岡健一厩舎

初騎乗 2024年3月2日

通算成績 1239戦115勝

9月にJRA通算100勝達成

TR笠松で外目からスムーズに運んで勝利。キックバックを嫌がる騎乗馬の性格を考えての立ち回りだった。祖父がJRAの厩務員で、幼少期から競馬は身近な存在。昨春のデビュー戦は僅差2着で悔し涙を流したが、その年に挙げたJRA48勝は新人歴代5位の勝ち星だった。今年9月にJRA通算100勝を達成するなど、頭角を現している。

西日本地区 3位



古川 奈穂

(ふるかわ なほ)

2000年9月13日生 東京都出身

所属 栗東・矢作芳人厩舎

初騎乗 2021年3月6日

通算成績 1131戦64勝

2年連続
ファイナルラウンド進出

TR名古屋では道中の不利で僅差2着の悔しさを味わったが、TR金沢は最内枠を利用して逃げ切り勝ち。昨年に続きファイナル進出を決めた。父は医師で、自身も進学校に通っていたが、週末にはカメラ片手に競馬場に通う女子高生から奮起して騎手の道へ。所属する矢作芳人厩舎の通算1000勝(海外・地方含む)を自身の騎乗で飾った。

西日本地区 4位



大久保 友雅

(おおくぼ ゆうが)

2003年6月1日生 滋賀県出身

所属 栗東・フリー

初騎乗 2022年3月5日

通算成績 302戦4勝

ニュージージーランド武者修行
から帰国

TR高知で勝利。パドックから気性の難しさを見せる騎乗馬で返し馬もできなかったが、武器である末脚をしっかりと引き出した。祖父は三冠馬ナリタブライアンなどを管理した故・大久保正陽調教師。昨年から約1年7カ月、ニュージージーランドで武者修行。アスリートとしての体づくりにも一から取り組み、勝利を挙げて帰国した。

2025 YOUNG JOCKEYS SERIES

Road to The Final Round

トライアルラウンド・総括

JRA・西塚騎手は1勝、2着3回 地方・山本騎手、松本騎手は2勝

4月1日時点の見習（減量）騎手によって争われるヤングジョッキーズシリーズ。トライアルラウンド（TR）は東日本・西日本に分かれて争われ、各騎手上位着順を得た4戦の着順ポイントの合計によって、JRAの東・西、地方の東・西、各上位4名、計16名がファイナルラウンド（FR）出場となる。

東日本のTRは6場12戦のうちJRA騎手が8勝。佐藤翔馬騎手は昨年のTRでも連勝した好相性の浦和第1戦を勝利し、ほかに3着3回。JRA東日本1位で2年連続FR出場を決めた。谷原柚希騎手は川崎第2戦を勝利し、デビュー以来の初勝利に笑顔が弾けた。ほかに、盛岡第1戦で最後方から差し切った石田拓郎騎手が3位で2年連続、一昨年のFRで優勝した横山琉人騎手も4位でFR出場となった。

東日本で唯一2勝をあげた山本大翔騎手（船橋）は80ポイントを獲得し、JRA騎手も含め東日本のトップ。地方東日本の2位以下は50ポイント台で拮抗した争いとなり、大井第1



トライアルラウンド園田 第2戦（10月16日、1着 塩津璃菜騎手）



トライアルラウンド園田（10月16日）



トライアルラウンド浦和 第1戦（10月30日、1着 佐藤翔馬騎手）



トライアルラウンド大井（10月23日）

戦を勝利した神尾香澄騎手（川崎）が2位、3位が佐野遥久騎手（川崎）で、以上3名はFR初出場。4位の谷内貢太騎手（大井）は2年連続でのFR出場となった。

西日本のTRでも6場12戦でJRA騎手が8勝。西塚洸二騎手は6戦に騎乗し1勝2着3回で、出場騎手最高の90ポイントを獲得。期間中に見習を卒業していた高杉吏麒騎手は西日本最終ラウンドの笠松第1戦を勝利して2位。3位の古川奈穂騎手は2年連続でのFR進出。大久保友雅騎手は修行中のニュージーランドから帰国しての参戦で4位に入った。

西日本で唯一2勝をあげた松本一心騎手（笠松）が地方西日本1位。中京のFRでは地元関係者の応援が後押しとなりそう。門別で期間限定騎乗中だった塩津璃菜騎手（兵庫）は地元園田第2戦を勝利して2位。3位の土方颯太騎手（兵庫）は2年連続でのFR進出。青海大樹騎手（佐賀）は地元佐賀第2戦を1番人気に応えての勝利で4位に入った。

JRA・地方とも東・西から各1名ずつ、計4名の女性騎手がFR出場となり、華やかな争いとなりそう。

（競馬ライター・斎藤修）

ヤングジョッキーズシリーズ ファイナルラウンド・過去5年の結果

2024	騎手名(所属)	合計ポイント
第1位	鷹見 陸(大井)	57Point
第2位	望月 洵輝(愛知)	53Point
第3位	室 陽一朗(浦和)	49Point



2023	第1位	横山 琉人(美浦)
2022	第1位	小林 凌大(美浦)
2021	第1位	飛田 愛斗(佐賀)
2020	第1位	吉井 章(大井)